

COINS Seminar #40

【日時】 2019年1月7日(月) 16:00~17:15 (受付開始 15:30)

【会場】 ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) 3001 会議室 <https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/access.html>

【定員】 30名

【申込】 登録制 URL https://www.cis-trans.jp/coins_seminar40/index.html

演題：中枢神経系転移における分子標的薬耐性のメカニズムとその克服

Circumvention of targeted drug resistance in CNS metastasis

講演概要：

脳転移や髄膜がん腫症などの中枢神経系 (CNS) 転移において高頻度に分子標的薬の耐性が生じるが、その分子機構は殆ど解明されていない。我々は種々のがん種の細胞株にルシフェラーゼ遺伝子を導入し、がん細胞を免疫不全マウスの髄腔内あるいは脳実質に移植する CNS 転移モデルで分子標的薬耐性を誘導し、耐性機構を解析している。

EGFR 変異肺がんの髄膜がん腫症モデルでは *MET* コピー数増加が、*NTRK1* 融合遺伝子陽性大腸がん細胞の脳転移モデルでは *NTRK1*-G667C 変異により分子標的薬耐性って生じていた。これらは CNS 以外の病変で高頻度に検出される *EGFR*-T790M や *NTRK1*-G595R など高度耐性を惹起するメカニズムとは異なる。以上より、CNS 転移においては CNS 以外の病変とは異なるメカニズムで耐性が生じうるため、正確な耐性機構の診断および個別の治療戦略が必要であると考えられる。

講師：矢野聖二

金沢大学がん進展制御研究所 教授 (副所長)

URL : <http://syuyounaika.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

Speaker : Seiji Yano

Affiliation : Kanazawa University Cancer Research Institute

Position : Professor

URL : <http://syuyounaika.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



<略歴>

平成 2年 3月 徳島大学医学部医学科卒業

平成 7年 3月 徳島大学大学院医学研究科博士課程 (内科系) 修了

平成 9年 9月 米国テキサス大学 MD Anderson Cancer Center, Dept Cancer Biology

平成 12年 10月 徳島大学医学部・歯学部附属病院講師 (呼吸器・膠原病内科)

平成 19年 4月 金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科教授、附属病院がんセンター長

平成 29年 9月 WPI Nano Life Science Institute (LSI) (併任)

平成 30年 4月 金沢大学附属病院副院長 (研究担当)

<主な受賞>

平成 22年 11月 日本肺癌学会 篠井・河合賞

平成 25年 10月 JCA-Mauvernay Award (Applied research) (モーベルネ賞)

平成 26年 6月 日本がん分子標的治療学会 鶴尾隆賞

<専門分野> 臨床腫瘍学、分子標的薬耐性、医師主導治験